

○ 令和元年度計画護衛艦3番艦 命名・進水式 艦名「のしろ」

令和3年6月22日（火）、三菱重工業株式会社長崎造船所にて、九州防衛局長崎防衛支局が監督・検査を担当している令和元年度計画護衛艦3番艦の命名・進水式が執り行われました。

式典当日は晴天に恵まれ、出口佐世保地方総監執行のもと松川防衛大臣政務官、三島防衛技監、山村海上幕僚長、廣瀬九州防衛局長、三原長崎防衛支局長、支局員及び三菱重工業株式会社の関係者が見守る中、粛々に行われました。

命名式では、佐世保音楽隊による国家吹奏に引き続き、松川防衛大臣政務官が命名書を読み上げ、「のしろ」と命名されました。「のしろ」は主に秋田県北部を流れる一級河川の能代川（別称：米代川）に由来しています。また、この艦名は、旧海軍の軽巡洋艦「能代」、海上自衛隊のちくご型護衛艦11番艦「のしろ」に続き3代目になります。

命名式に引き続き、立神艦船製造部長の進水準備完了の合図により、松川防衛大臣政務官が斧を振り下ろし、支綱の切断を行いました。くす玉が割れ佐世保音楽隊が奏でる軍艦マーチのなか、号砲とともに色とりどりの紙テープや風船が舞い艦番号3「のしろ」は進水しました。

「のしろ」は令和4年12月就役予定であり、これから就役に向けた本格的な装工事及び海上での確認運転等が計画されています。九州防衛局長崎防衛支局では引き続き、監督・検査に万全を期して参ります。



▲自衛艦命名式（松川防衛大臣政務官から「のしろ」と命名）



◀進水式（護衛艦「のしろ」が進水）